

《タイトル》胆石症について

《開催日》2022年11月25日 医療公開講座 対面

11月25日（金）プラザ新琴似にて、当院の外科 斎藤博紀医師による医療公開講座を開催しました。日本の成人の10%が胆石を保有しており、食生活の欧米化や高齢化などを背景に年々増加しています。症状は、腹痛、恶心、嘔吐が多いですが、7~8割は無症状です。無症状の場合は基本的に治療の必要はありませんが、胆石が大きい、小さい石が多数あるなどの患者さ



まは、将来的に痛みを発症する確率が高いため一度検査を受けることをすすめました。治療方法としては、手術（腹腔鏡下胆囊摘出術）や薬の処方があります。手術で胆囊を摘出したとの影響は、消化機能が低下することはありませんが、一時的に便が柔らかくなることがあると説明しました。